

令和6年度 通常総会を開催

～新会長に長谷川正一郎を選出～



通常総会の様子

山梨県食品産業協議会（会長 武田信彦）は、令和6年7月8日に山梨県信用保証協会の会議室において、令和6年度通常総会を開催した。冒頭、あいさつした武田会長は、「物価高騰のおり、食品業界を取り巻く環境は厳しい」として、人材確保や賃金の上昇への対応、県外・海外展開を含めた販路開拓など、食品製造業者が直面している経営課題を解決する不断の取組みが経営の持続化に繋がると述べた。

今総会では任期満了による役員改選が行われ、新会長に長谷川正一郎氏（山梨県漬物協同組合 理事長）が就任し、副会長に小野曜氏（山梨県パン協同組合 理事長）、天野怜（山梨県酒造組合 会長）の2名が選出された。前会長の武田信彦氏（山梨県

味噌醤油工業協同組合 理事長）は、理事に選出された。長谷川新会長は、「販路開拓に注力したい。国内市場はもとより、海外展開について積極的に取り組んでいる業界がある一方、信頼できる海外バイヤーの獲得や製品PRの手法等、課題を抱えている企業が多い。1社で悩まず協議会を通して課題解決が図られるよう尽力していきたい。」と抱負を述べた。

同協議会は、農水省の指導により、地域農水産物の利用の高度化を図るとともに、山梨の食品産業の振興を積極的に推進し、一般消費者の食生活の安定向上と本県経済の発展に寄与することを目的として、昭和63年3月に発足。会員は、食品製造業者が構成する業界組合、11団体（正会員）、関係先等7団体（賛助会員）計18団体で設立された。平成21年度より、山梨県中小企業団体中央会が事務局を担当している。



担当：笠井



武田前会長(左)と
新たに会長に就任した
長谷川正一郎氏(右)